

6-3

ボランティアとの協同

喫茶・ライブ・コーラス隊へと発展した15年の取り組み

ボランティア

意識改革

特別養護老人ホーム やまぶき さと 山吹の里

主任ケアワーカー はそめ やえこ 羽染 弥栄子

ボランティア ふくおか よし 福岡 良

東京都豊島区高田3-37-17

ボランティア あすま みちよ 東 三千代

TEL 03-3981-5051

E-mail yamabuki@pop21.odn.ne.jp

FAX 03-3981-5061

URL <http://www.frontier-toshima.or.jp/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

社会福祉法人フロンティア豊島が経営する特養です。平成元年入所者80名、ショートステイ8名でスタート。デイサービス・訪問介護・ケアプラン相談センターを併設。太田道灌ゆかりの山吹の碑・面影橋が近く交通の便が良いところにあります。

〈取り組んだ課題〉

- 施設内に閉じこもらず、外部との交流をすすめる。
- ボランティアセンターに依頼、地域との交流、介護者教室などでできたつながりを継続する。
- 積極的なボランティアの活動の成果は、地域合同の喫茶コーナー開設・ライブ・コーラス隊へと発展し、地域住民との交流が日常的になった。

〈具体的な取り組み〉

平成元年開設より、施設内に閉じこもらず、外へ出かけること、外から来てもらうことで外の風をもってきてもらうように取り組んだ。その中で、豊島区家庭教育推進員OB会とは15年来のおつきあいとなった。

〈同会と当施設との歩み〉

- 平成3年5月 洗濯たたみ、食事準備、外出援助から始まる。
- 平成10年9月 同会が主体となり、施設1階に喫茶コーナー開設。婦人会・町会・武田薬品・明るい社会を作る会等も協同運営。
- 平成12年7月 月1回のボランティア出演者によるライブ始める。今年6月現在71回開催。
- 平成13年4月 特養誕生会と合同企画にし、手作りのプレゼントいただく。喫茶コーナーへ利用者誘導し、話相手ボランティア開始。
- 平成16年5月 特養ユニットケアの取り組み始まり、職員の意識変わる。
- 平成16年12月 特養利用者とともに合唱を始める
- 平成17年3月山吹コーラス隊結成。行事などで発表の機会増える。
- 現在同会メンバー自宅での逆デイサービス準備中。

〈活動の成果と評価〉

〈利用者にとって〉

- 喫茶コーナーを継続することにより、利用者の家族や、その友人も運営に参加するようになった。
- ライブに参加した利用者は、回を重ねる毎に集中できるようになった。
- コーラス隊が編成されたことにより、日常生活に歌が存在するようになり、生活にハリが生まれている。

〈職員にとって〉

- 初めは他人事の様な関わりで、ライブに連れて行く人も少なく、すぐに連れ戻す傾向があった。
- ユニットケアの準備を進める中で、利用者個々人の生活や、余暇活動の役割を重視するように意識が変わっていった。現在は多数ライブに参加し、ボランティアの方との協同を追求するようになった。

〈ボランティアの方にとって〉

- 喫茶・ライブ・コーラス隊の活動の要望に対し、施設として受けとめ全面協力が得られた。
- 利用者の可能性を追求すること・ボランティア同士のつながりが興味ややりがいにつながっている。活動によって貴重な情報が得られ、介護や地域福祉の勉強になった。

〈今後の課題〉

- 築いてきたものを次につなげ、継承・発展させる。
- 高齢になっても地域で安心して暮らせるよう、その拠り所である施設でありたい。介護サービスを提供することは勿論、その前段階としての介護予防、生きがい活動としての喫茶・ライブ・コーラス隊等の役割がある。地域諸団体への働きかけを強めていく。
- 施設とボランティアのよりよき協同の形を今後も追求したい。